

## 在外日本古美術品保存修復協力事業 (コ04)

**目的** 日本の文化財は欧米を中心に海外でも多く所蔵されている。しかし、日本文化財の保存修復専門家は海外にほとんどおらず、多くの博物館などで適切な処置に窮している。そこで、本事業では海外で所蔵されている日本文化財の保存修復に関する助言等の協力を行う。また本格的な修復が必要な美術作品に関しては日本で修復して返還する。さらに、特殊な条件にある海外作品に関して、その保存修復方法の研究を行い、成果を公開、共有する。

- 成果**
1. 作品修復
    - ア) ナショナル・ギャラリー・オブ・ビクトリア (オーストラリア) 所蔵「親鸞聖人絵伝」、絹本着色、掛軸4幅、修復完了、輸出
    - イ) ナショナル・ギャラリー・オブ・ビクトリア (オーストラリア) 所蔵「般若図」、絹本着色、掛軸1幅、輸出
    - ウ) モントリオール美術館 (カナダ) 所蔵「女房三十六歌仙貼交屏風」、紙本金地着色、屏風6曲1双、輸入
    - エ) モントリオール美術館 (カナダ) 所蔵「熊野曼荼羅」、絹本着色、掛軸1幅、輸入
  2. 報告書の作成・刊行
    - ア) 在外日本古美術品保存修復協力事業概要
    - イ) インディアナポリス美術館 (アメリカ) 所蔵「檜・八橋図」、紙本金地着色、屏風6曲1双
    - ウ) インディアナポリス美術館 (アメリカ) 所蔵「林和靖・太公望図」、紙本墨画、掛軸2幅
    - エ) インディアナポリス美術館 (アメリカ) 所蔵「煙寺晚鐘図・平沙落雁図」、紙本墨画、掛軸2幅



- 刊行物**・『在外日本古美術品保存修復協力事業』、東京文化財研究所 21.3
- ・『在外日本古美術品保存修復協力事業 檜・八橋図 No.2017-1』、東京文化財研究所 21.3
  - ・『在外日本古美術品保存修復協力事業 林和靖・太公望図 No.2017-2』、東京文化財研究所 21.3
  - ・『在外日本古美術品保存修復協力事業 煙寺晚鐘図・平沙落雁図 No.2017-3』、東京文化財研究所 21.3

**研究組織** ○加藤雅人、友田正彦、片渕奈美香、清水綾子 (以上、文化遺産国際協力センター)、江村知子、安永拓世 (以上、文化財情報資料部)、三本松俊徳、廣原大樹 (以上、研究支援推進部)、大河原典子、杉山恵助 (以上、客員研究員)